

## 「肥満症診療ガイドライン 2016」発行に伴う対応について

『病態栄養専門医テキスト(改訂第2版)』 第一刷について、以下の修正をいたします。

これは、日本肥満学会より「肥満症診療ガイドライン 2016」が発行されたことに伴う対応であり、とくにその内容の重要性を考慮したものです。

編集代表  
日本病態栄養学会 専門医制度委員会 委員長  
松浦文三

【対象】 91 頁, 「表 11 肥満に起因ないし関連し, 減量を要する健康障害」

### 【修正内容】

表 11 肥満に起因ないし関連し, 減量を要する健康障害
1. 肥満症の診断基準に必須な健康障害 1) 耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常など) 2) 脂質異常症 3) 高血圧 4) 高尿酸血症・痛風 5) 冠動脈疾患: 心筋梗塞・狭心症 6) 脳梗塞: 脳血栓症・一過性脳虚血発作(TIA) 7) 非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD) 8) 月経異常・不妊 9) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)・肥満低換気症候群 10) 運動器疾患: 変形性関節症(膝・股関節)・変形性脊椎症, 手指の変形性関節症 11) 肥満関連腎臓病
2. 診断基準には含めないが, 肥満に関連する健康障害 1) 悪性疾患: 大腸がん, 食道がん(腺がん), 子宮体がん, 膵臓がん, 腎臓がん, 乳がん, 肝臓がん 2) 良性疾患: 胆石症, 静脈血栓症・肺塞栓症, 気管支喘息, 皮膚疾患, 男性不妊, 胃食道逆流症, 精神疾患
3. 高度肥満症の注意すべき健康障害 1) 心不全 2) 呼吸不全 3) 静脈血栓 4) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS) 5) 肥満低換気症候群 6) 運動器疾患
(肥満症診療ガイドライン 2016, 日本肥満学会(編), ライフサイエンス出版, 東京, 2016より引用)